

広島城 企画展 「江戸の旅と愉しみ」

●内 容／多くの庶民が旅をした江戸時代。人々は寺社参詣や湯治などを目的に旅立ち、その道中で物見遊山を愉しました。江戸時代の旅の様子を、様々な関連資料とともにご案内します。

●期 間／～11月7日(日)

【場 所】広島城天守閣第四層企画展示室 【開館時間】9:00～18:00(入館は17:30まで)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、9月30日(木)まで休館中(予定)です。



広島市中区基町21番1号
TEL082(221)7512
FAX082(221)7519
<http://www.rijo-castle.jp/>

ヌマジ交通ミュージアム (広島市交通科学館)

広島市安佐南区長楽寺二丁目12番2号
TEL082(878)6211(代)
<https://www.vehicle.city.hiroshima.jp/>

秋季企画展

「アートな乗り物」

乗り物?アート?関係ないと思うかもしれませんが。乗り物は、動くだけでも目的を達成しますが、アートや技巧を凝らすことで、乗る者あるいは見ている者をワクワクさせてきました。古今東西作られてきた独創的な乗り物の一端を「魅せる」ことで、乗り物の新たな側面に注目します。実車や模型、写真等で、様々な「アートな乗り物」をお楽しみください。

【展示予定】

- ・マツダ魁CONCEPT(マツダ株式会社所蔵・実物)
- ・ル・コルビュジェのマキシムカー(広島市現代美術館・実物模型)
- ・動物をモチーフとした木彫りのクルマ(三松拓真氏作・実物)
- ・電動アシスト車いすのデザインコンセプトモデル(ヤマハ発動機株式会社所蔵・実物)

【同時開催】「どこかで?ゲンビ」INヌマジ交通ミュージアム

「まちなかのどこかであなたとゲンビがふとであう」のキャッチコピーのもと、現在休館中の広島市現代美術館が各地で展示を展開しています。

その活動の一環として、乗り物をモチーフ、もしくは連想させる作品を展示します。



三松拓真氏作品「ほよっち」

●会 期／10月7日(木)～11月28日(日)

●場 所／2階特別展示室ほか

●開館時間／9:00～17:00(入場は16:30まで)

●休 館 日／毎週月曜日、11/4(木)、11/24(水)



広島市郷土資料館

HIROSHIMA CITY MUSEUM OF HISTORY AND TRADITIONAL CRAFTS

企画展「『ごんぎつね』が語る昔の暮らし」

●内 容／童話『ごんぎつね』は新美南吉の代表作で、教科書に採用されるなど、幅広い世代に愛されている物語です。この企画展では、『ごんぎつね』のストーリーを交えながら、物語に登場する昔の道具や情景、人々の暮らしの様子を紹介します。

●会 期／10月1日(金)～11月23日(火・祝)

●展示場所／広島市郷土資料館 2階企画展示室他

●開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)

●休 館 日／毎週月曜日



展示の一場面「村のくらし(すまう)」

「海図150年の歴史—瀬戸内海の家図—」パネル展 10月1日(金)～11月23日(火・祝)

日本に近代的な海の測量技術が導入されて、今年が150周年になることから、海図をもとに広島周辺の移り変わりについて探っていきます。

〒734-0015 広島市南区宇品御幸二丁目6-20 TEL(082)253-6771 FAX(082)253-6772

ホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>

☆利用方法／「広島市文化施設無料観覧券」を窓口でお渡しください。無料でご利用いただけます。(一人1回利用につき1枚限り有効です。)

☆対 象／会員と同居家族 ☆注意事項／必ず事業所番号・会員番号・会員氏名をご記入の上、ご利用ください。

♥上記同様に、「広島市江波山気象館」も「広島市文化施設無料観覧券」で無料観覧いただけます!